

矢祭子ども司書だより

平成23年1月26日 第10号
矢祭もったいない図書館
発行責任者 館長 金澤 昭
〒963-5118
矢祭町大字東館字石田25
TEL0247-46-4646

矢祭もったいない図書館 4才です！



矢祭もったいない図書館は、今月4才になりました。
全国からいただいた本から生まれた図書館ですが、今では小さな町の大きな施設になっています。毎日たくさんの方たちが図書館を利用してくださっていますが、この機会に、図書館での本との出会いを紹介したいと思います。

関岡小学校のつかさくんは、図書館で「夢をつかむイチロー262のメッセージ」に出会って、イチローの言葉に勇気もらったことを、矢祭町の青少年の主張大会で発表しました。東館小学校のはるなさんは、詩集「そばにいるから」を読んで、自分を信じてみようと思ったことを読書体験談の中で紹介しました。はるなさんの読書体験談は昨年11月に行われた福島県の読書体験談コンクールで優秀賞に選ばれています。

図書館はこれからも本との出会いを応援していきたいと思っています。

子ども司書おはなし会 2月12日（土）午後2時～3時

2月12日（土）に、受講生全員が協力して、子ども司書おはなし会を開きます。今年のおはなし会をどうぞ聞きに来てください。
2月20日（日）の矢祭子ども司書の認定式を目指して、19人の受講生ががんばっているところです。

子ども司書 第1期生の活躍

矢祭町が全国に先がけて始めた「子ども司書講座」。夕刊矢祭に、サポーターのみなさんがしっかりと成長していることを感じた、うれしい記事がありました。（くわしくは夕刊のコピーをごらんください。）

去年の11月3日に開催された「矢祭町青少年の主張」では、あやきくんが「子ども司書講座」を通して成長した体験を発表しました。あさひさんは、「子ども司書講座」と子どもサポーターの体験について発表しましたが、原稿を持たずに堂々と発表した姿が印象に残りました。そしてなつみさんは、矢祭もったいない図書館の建物を例にあげて、ユニバーサルデザインについて発表しました。中学生になったわたるくんとれなさんは、読み聞かせボランティアで活躍していますよ。